

◆ 元気なあいさつ 明るい歌声 笑顔あふれる中央中学校

中央中だより

令和2年9月4日発行第9号
校長 中村 洋一郎
中央中さわやか相談室 3階
相談室 ☎ 2959-9591

3Work (Team・Net・Foot)を大切に中央中の子供たちのために

9月1日(火) 放送による学校朝会にて校長講話 (一部抜粋)

今日も放送による朝会です。今日は2つの話をします。

1つ目、

皆さんに質問です。今日は9月1日ですが、何の日でしょうか？

9月1日 - 今日は「防災の日」です。皆さん、知っていましたか？

日本は地形や地質などから、地震や台風、津波、豪雨などの災害が発生しやすい国で、これまでも様々な災害に見舞われてきました。そのような災害による被害を少なくするために、「防災の日」が設けられました。また、9月1日から1週間は「防災週間」とされ、この期間中には、各地域で様々な防災関連の行事が行われます。※9月を防災月間ともしています。

9月1日 - この日が何故「防災の日」に制定されたのでしょうか？日本は、これまでも数々の大災害に見舞われてきましたが、歴史上の大きな地震災害の一つとして記憶されているのが、1923年9月1日に起きた関東大震災です。関東大震災は、マグニチュード7.9、震度6の規模で11時58分に発生しました。ちょうどお昼の時間帯で火の使用が多かったことと、時折突風が吹き荒れたことなどから、火災による二次被害が広がり、南関東を中心に、死者・行方不明者約10万5000人、家屋全壊約11万戸、焼失した家屋は約21万戸だったそうです。数字が大きすぎて想像ができませんが、南関東の地域は壊滅状態だったそうです。この震災を忘れず、災害に対する備えをしっかりと行おうと、1960年、国は9月1日を「防災の日」として制定しました。「防災の日」「防災週間」をきっかけに、非常持ち出し袋の点検や避難所の確認、家族との連絡方法、家族との待ち合わせ場所などをこの機会に是非確認しておきましょう。

「天災は忘れた頃にやってくる」 - 物理学者・防災学者の寺田寅彦という人の言葉ですが、まさしくそのとおりですね。「備えあれば憂いなし」という言葉もあります…

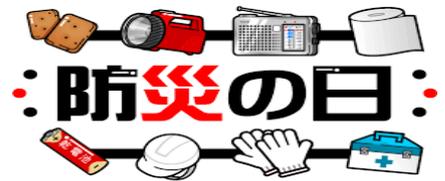
2つ目、

8月25日、文部科学大臣が『児童生徒や学生の皆さんへ』というメッセージを发出了しました。そのメッセージの一部を紹介します。

「～略～新型コロナウイルスには誰もが感染する可能性があります。感染した人が悪いということではありません。学校やクラスの中で感染することは悪いことだという雰囲気が出てしまうと、新型コロナウイルスに感染したと疑われることを恐れて、具合が悪くなっても言い出しにくくなったり、病院に行くのが遅くなったりします。そうすると、更に皆さんの地域で感染が広がってしまうかもしれません。

感染した人や症状のある人を責めるのではなく、思いやりの気持ちを持ち、感染した人たちが早く治るように励まし、治って戻ってきたときには温かく迎えて欲しいと思います。もし、自分が感染したり症状があったりしたら、友達にはどうして欲しいかということを考えて行動して欲しいと思います。すでに、感染した人たちが心無い言葉をかけられたり、扱いをされたりしているという事例が起きています。こうしたことが皆さんの周りでも起きないように、皆さんにも協力して欲しいのです。～以下略～

先生もまさしく同感です！心優しい中央中生の事だからこんなことはないと思っていますが、例えば、学校をお休みしている人に対して「あいつコロナじゃないか？」と無責任な噂を流したり、「あいつのせいで行事がなくなった」と理不尽に責めたり、「コロナに感染したのは誰だ？」と興味本位に人物探しをしたりと、そんなことが中央中で絶対に起こらないようにして欲しい。もし、そんな人を見かけたら学年の先生でも私でもいいですから教えて下さい。お願いします。今日は「防災の日」と文部科学大臣のメッセージの2つの話をしました。話を終わりにします。



生徒・保護者の皆様へ

8月25日に文部科学大臣が、「児童生徒や学生の皆さんへ」、「保護者や地域の皆様へ」、「教職員をはじめ学校関係者の皆様へ」という3本のメッセージを発信しました。埼玉県教育長も「児童生徒・保護者の皆さんへ」というメッセージを発信しています。(本校HPにアップしていますので、是非ご覧ください)それだけ、感染者に対する差別や偏見、誹謗中傷が多いということをお話していると思います。

新型コロナウイルス感染症の怖さは、病気が不安を呼び、不安が差別を生み、差別が更なる病気の拡散につながることで、感染症へ正しく対応するためには、最新の科学的な知見等を知ること、差別的な言動に同調しないようにすることが大切です。

具体的には次の事項に気をつけましょう。

- (1) 欠席理由を詮索しない。間違っても嘘やデマを流すことはやめましょう。
- (2) 旅行的行事において、高齢者や持病を持つ家族がいる等の家庭の事情や、感染への不安で参加できない等、やむを得ず参加を見合わせる生徒への温かい配慮をお願いします。
- (3) 感染した個人や学校を特定して非難すること。
- (4) 感染により、行事が中止になったとしても特定の個人や団体を責めることはしない。

2学期の主な行事に関して

9月12日(土) 修学旅行説明会 13:00～

9月19日(土) 第36回体育祭

- ・参観者は各家庭1名となります。
- ・検温を実施します。37℃以上は入場をお断りします。親父の会の皆様に手伝って頂きます。

9月25・26日 市内新人大会

- ・現時点では実施する予定です。
- ・保護者応援に関しては競技(会場)ごとの判断

10月1日(木) 2年校外学習

- ・ご案内の通り、泊をやめて日帰りとします。

10月10日(土) ふれあい中央(バザー)

- ・ご案内の通り、今年度は中止としました

10月16日(金) 1年校外学習

- ・智光山公園にて仲間との親睦を図ります。

10月20日(火) 市内駅伝大会

- ・現在、狭山市中体連で検討しています。

10月29日(木) 校内音楽会

- ・現時点では実施する予定です。

11月5～7日 3年修学旅行

- ・現時点では実施する予定です。

11月14日(土) 狭山市綱引き大会

- ・今年度は中止が決定しています。

11月25～27日 1年職業体験学習

- ・今年度は中止とします。

暑さ指数(WBGT)って何?

暑さ指数(WBGT)とは、人間の熱バランスに影響の大きい、気温・湿度・輻射熱の3つを取り入れた温度の指標です。熱中症の危険度を判断する数値として使われます。一般的に、熱中症患者は暑さ指数(WBGT)が28℃を越えると急に増えます。暑さ指数(WBGT)28～31℃未満は嚴重警戒レベル、31℃以上が危険レベルとなります。中央中では黒球式熱中症指数計《熱中アラーム》を毎日職員玄関に吊るして暑さ指数(WBGT)を計測しています。暑さ指数(WBGT)が31℃以上になったら部活動や屋外での活動を原則、中止としています。(屋内でのミーティング等は可としています。)

※嚴重警戒レベル(WBGT28～31℃)では水分補給をこまめにする、休憩を多くする、直射日光を避けるなどの対策を十分にするとともに、生徒の様子を良く観察しながら部活動や屋外活動を行います。

※体育祭当日や部活動の大会等はこの限りではありません。

《補 足》

1. 熱中症警戒アラートは熱中症の危険性が極めて高い暑熱環境が予測される時に、前日夕方または当日早朝に発表されます。
熱中症警戒アラートが発令された時は特に気を付けるようにします。
2. 環境省の熱中症予防情報サイトにアクセスし、埼玉・所沢と地点登録すると暑さ指数(WBGT)を知ることができます。
翌日、翌々日の予報も掲載しているので参考にしています。
3. 部活顧問も上記のことに十分配慮をして部活動を行います。



【これが《熱中アラーム》です！】